

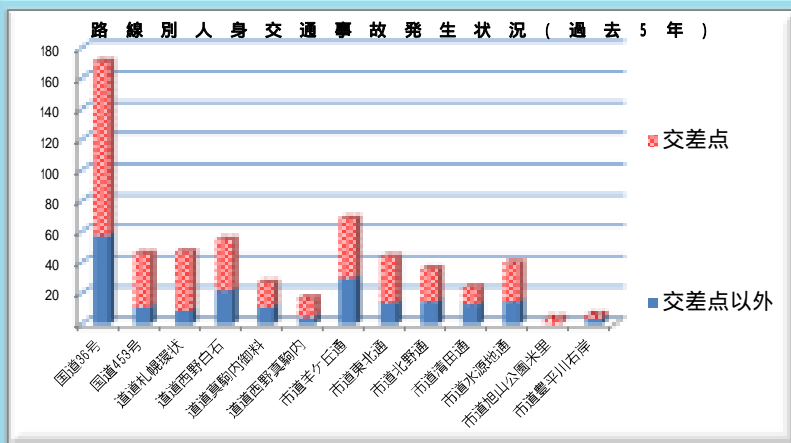
速度取締指針

豊平警察署の速度取締りの重点

路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	8時～22時	市街地	指定速度(50km/h)
市道羊ヶ丘通	6時～20時	市街地	法定速度(60km/h)
道道真駒内御料札幌線	10時～18時	郊外	指定速度(50km/h)

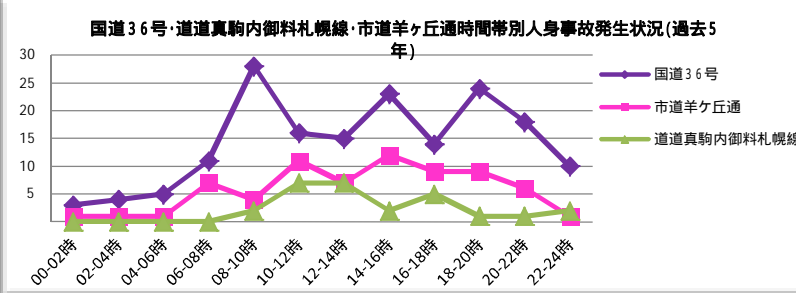
重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

札幌方面豊平警察署管内の交通事故実態等



過去5年(7～9月)の人身交通事故発生状況を路線別に比較すると、交差点に起因する事故以外では、国道36号が最も多く、次いで市道羊ヶ丘通の発生が多い。

道道真駒内御料札幌線の過去5年(7～9月)事故発生状況は、行楽期に入り、過去5年(4～6月)より増加しており、本年2月には死亡事故が発生している。



過去5年(7月～9月)の国道36号は、朝の通勤時間帯から事故が増加し、その後の事故発生は24時まで多い。

市道羊ヶ丘通は、早朝から夕暮れ時間帯に事故が増加する。

道道真駒内御料札幌線は、10時から14時に一度増加し、その後16時から18時に再度増加する。

道路交通環境

豊平警察署管内の主要幹線道路は、北海道の大動脈である国道36号と片側3車線で清田区や北広島市の商業施設と繋がる市道羊ヶ丘通である。この2路線は曜日を問わず交通量が多く、それに伴い事故の発生が多い。

道道真駒内御料札幌線は、豊平警察署管内では郊外を通る路線であり、行楽シーズンに入ると、交通量が増え、それに伴い、実勢速度も上昇する。

豊平・清田区は、中央・南・白石・厚別区、北広島市と隣接しており、様々な目的の車が豊平・清田区の国道・道道・市道を往来す

～平成30年1月1日から6月31日現在～

豊平警察署管内では、死亡事故が3件、国道36号、道道真駒内御料札幌線、市道水源地通で発生している。

その他の交通指導取締りの要点

市街地における交差点違反、シートベルト違反等の取締りの強化、速度抑制のための警戒活動の強化

取締結果

今年の豊平警察署管内における死亡事故は3件発生し、前年対比+3となっているが、道路上における交通事故全体の総量は、前年対比-55と減少している。